

「新潟市12次産業化推進計画(更新素案)」に対する パブリックコメント手続きの実施結果について

「新潟市12次産業化推進計画(更新素案)」について、貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

いただいたご意見に対する市の考え方をまとめましたので、結果を公表します。

なお、ご意見の一部については、趣旨を損なわない範囲で要約し掲載させていただきましたので、ご了承ください。

■意見募集期間

令和2年4月13日(月曜)～5月12日(火曜)

■結果公表日

令和2年7月8日(水曜)

■広報手段

- ・市ホームページに掲載
- ・市政情報室、食と花の推進課、各区役所、各出張所、中央図書館にて資料配布

■ご意見の提出状況、案の修正

- ・意見提出者数：1名(窓口へ持参1)
- ・意見数：3件
- ・案の修正：1件

■結果公表場所

結果は次の場所で閲覧できます。(閉庁日、休館日は除きます)

- ・市政情報室(市役所本館1階)
- ・食と花の推進課(市役所ふるまち庁舎4階)
- ・各区役所(資料の設置場所は各区地域課・地域総務課へお問い合わせください)
- ・各出張所
- ・中央図書館(ほんぽ一と)

■問い合わせ先

新潟市 農林水産部 食と花の推進課(市役所ふるまち庁舎(古町ルフル)4階)

〒951-8554 新潟市中央区古町通7番町1010番地

電話：025-226-1794 FAX：025-226-0021

E-mail：shokuhana@city.niigata.lg.jp

「新潟市12次産業化推進計画（更新素案）」に対するパブリックコメントに寄せられたご意見及び市の考え方

No.	更新素案 該当箇所	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	案の 修正
1	P 5	SDGsの解説（意味）を欄外に入れていただきたい。	ご意見ありがとうございます。ご指摘通りSDGsの説明を注釈として欄外に掲載します。	有
2	P 7	菌ちゃんリサイクル元気野菜づくり実施園の取組推移で、平成29年度以降実施園が減少している理由は何か。	<p>本取り組みは、子ども達に、捨てるはずの野菜くずがゴミではないことを理解してもらい、野菜の生長を自分のこととして感じられる豊かな心と感性を育むこと、さらに、子どもとその保護者に食習慣の改善と食に対する意識を高めて、健康な身体づくりにつなげることを目的に実施しています。</p> <p>対象は感性が豊かで食に興味を持ち始める幼児期が適しているため、幼稚園・保育園・こども園などの主に5歳児（年長児）が取り組んでいます。土づくりを行うので、野菜くずを土に返す作業や切り返しの作業などを行い、土が完成するまでに約1か月かかります。</p> <p>実施にあたっては、園の先生方の協力が必要不可欠であるため、モデル実践を経て、平成27年度に市内全園を対象にした研修会を実施し、平成28年度から実施園が増えていきました。平成29年度実施の28園のうち、市立園は23園、私立園5園です。</p> <p>その後の減少の理由としては、市立園は先生の異動があるので、ノウハウが蓄積されにくいこと、また、日ごろの保育が忙しく対応が難しいためと考えられます。</p> <p>現在、スキルを持った市民インストラクターがサポートすることで、先生の異動があってもノウハウを継承できるようにし、さらに、園同士で取り組みの情報を共有できるように研修の範囲を区内に限定して、実施園を増やせるように努めています。</p>	無
3	P 29～ P 30	<p>1. 今後の取組</p> <p>2. 庁内事業の取組目標</p> <p>3. 民間事業に対する普及支援の取組</p> <p>上記1～3は記載された内容で良いと思う。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。12次産業化の推進にあたっては、引き続き行政独自の取り組みのほか、民間の取組の活性化を図ることが重要です。</p> <p>庁内事業において田園資源を活用した取り組みの促進を図ることに併せ、12次産業化に関連した取り組みを既に実施している民間事業者の皆様の取り組みを広く情報発信することで、更なる普及に繋げていきたいと考えています。</p>	無